



PHILHARMONIKER WIEN NAGOYA

フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋 第24回演奏会

VERDI: LA FORZA DEL DESTINO /
LA TRAVIATA / NABUCCO,
J. STRAUSS II: EINE NACHT IN Venedig /
DER CARNEVAL IN ROM,
RESPIGI: FONTANE DI ROMA /
PINI DI ROMA

ヴェルディ

歌劇「運命の力」序曲

歌劇「椿姫」第一幕への前奏曲

歌劇「ナブッコ」序曲

J. シュトラウス II

喜歌劇「ヴェネツィアの一夜」序曲

喜歌劇「ローマの謝肉祭」序曲

レスピーギ

交響詩「ローマの噴水」「ローマの松」

指揮 水村 怜央

2026 **3.29** (日) 開演 13:30
開場 12:45

愛知県芸術劇場 コンサートホール

全席自由 1,000 円 未就学のお子様のご入場はご遠慮ください

前売りチケット ■ 芸文プレイガイド TEL:052-972-0430

チケットぴあ <https://pia.jp/> Pコード:315697

主催 ■ フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋

後援 ■ 愛知県教育委員会 名古屋市 名古屋市教育委員会 中日新聞社

お問合せ ■ PWN広報 TEL 080-4096-1842 Mail gruess_gott_pwn@yahoo.co.jp

最新情報は
楽団HPをご覧ください ▶



フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋

第24回演奏会

食文化や絵画・映画・音楽などの芸術で日本人を魅了する国「イタリア」。今回の演奏会は、この国にちなんだプログラムをお送りします。「ウィーン」とのつながりは?と思われるかもしれませんが、イタリアは、オーストリア・ウィーン人にとっても、歴史的、地理的にも、文化やアルプスの自然を共有している隣国であり、加えて輝く太陽にも憧れヴァカンスを過ごす等、古くから魅了されている国です。イタリアの作曲家の作品は、ウィーン・フィルでは比較的馴染みが薄いとも思われますが、ウィーン国立歌劇場では数多くイタリア・オペラが上演されています。そのヴェルディの有名な序曲と、こちらはウィーンっ子J. シュトラウス二世の知られざる名曲、イタリアを舞台にした喜歌劇の序曲を集めた前半。後半は永遠の都「ローマ」を舞台にしたレスピーギの2曲。ローマの名所をモチーフに、練達の管弦楽法による華麗な響きが、様々な感情や幻想、歴史の記憶を呼び起こします。指揮は当団初登場の水村氏。ウィーンで研鑽を積んだ若き俊英のタクトが描き出す、色彩豊かな世界をお楽しみください。



指揮 水村 怜央 MIZUMURA Reo

埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科(ピアノ)卒業、東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)卒業。

その後渡欧し、ウィーン私立音楽芸術大学修士課程指揮専攻にて研鑽を積む。

これまでにブラチスラヴァ交響楽団、ドホナーニ・オーケストラ、ウエスト・ボヘミアン交響楽団などを指揮。ウィーン市庁舎にて行われる伝統ある舞踏会にてウィーン・コンス・オーケストラを指揮し、好評を博す。また、ワーグナー「さまよえるオランダ人」、ベルゴレージ「奥様女中」、ストラヴィンスキー「放浪者の遍歴」、モーツァルト「皇帝ティートの慈悲」などのオペラで副指揮・コレペティートア、チェンバロ奏者を務める。指揮を広上淳一、Andreas Stoeckl、汐澤安彦、田代俊文、時任康文、三河正典の各氏に師事。また、Jorma Panula、Gábor Hollerung、Charles Olivieri-Munroe、Roberto Benzi、井上道義、下野竜也、高関健、増井信貴の各氏のマスタークラスを受講。

合唱指揮法をGuido Mancusi、コレペティートアをHuw Rhys James、David Aronson、ピアノを三上舞、田尻桂、野田清隆、Natalie Baich、管弦楽法をDirk D'Ase、音楽理論を三上舞、久田典子の各氏に師事。

管弦楽 フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋 Philharmoniker Wien Nagoya

フィルハーモニカー・ウィーン・名古屋(PWN)は、ウィーン音楽・ウィーン式管楽器をこよなく愛する東海地区のアマチュア奏者を中心に2011年に創設されたオーケストラです。管・打楽器は全員が、世界最高峰ともされるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(WPh)で使用されている独特のスタイルの楽器～ウィンナ・オーボエ、ウィンナ・ホルン、ウィーン・アカデミー式クラリネット、ウィンナ・ティンパニなど～を使用し、その美しい響きを追求しているという点で他に類を見ない、日本で唯一の楽団と言えるでしょう。また、楽器のみならず、WPhの団員やOBの演奏家を指揮者やソリストとして招聘し、演奏スタイルや精神面まで含め、その薫陶も受けることにより更なる高みを目指しており、10代から80代、関東や関西からも幅広くメンバーが集まっています。古典派から後期ロマン派の大編成の曲まで幅広く取り上げるほか、国立歌劇場管弦楽団を母体とするWPh同様、別名称で歌劇の公演にも取り組むなど、多彩な活動を行っていることも特徴です。



演奏会のお知らせ

第25回演奏会 2026年9月12日(土) 東海市芸術劇場 大ホール

第26回演奏会 2027年2月21日(日) 愛知県芸術劇場 コンサートホール

ベルリオーズ: 劇的交響曲「ロメオとジュリエット」ほか 指揮: 武藤 英明 合唱: 名古屋市民コーラス